私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
®環境省
認証番号 0014450

エコアクション21
環境経営レポート

２０２５年度



対象期間　2025年4月～2026年3月
発行日　2026年10月15日

ネッツトヨタ山陽株式会社

目 次

組織の概要 02

実施体制図及び役割・責任者・権限表 04

環境経営方針 05

2025年度環境経営目標及びその実績と判定・
2026年度環境経営目標 06

環境経営計画及び取組結果とその評価、
次年度の取組内容 07

環境経営活動 08

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果 11

代表者による全体の評価と見直し・指示 12

組織の概要

会社概要

会社名　ネッツトヨタ山陽株式会社

代表者名　代表取締役社長　鈴森　賢史

所在地

□本社・岡山店・やしの木店
〒701-0203　岡山県岡山市南区古新田1166
□東岡山店
〒703-8222　岡山県岡山市中区下470
□岡南店
〒702-8035　岡山県岡山市南区福浜町3-7
□水島店
〒712-8051　岡山県倉敷市中畝2-9-28
□津山店
〒708-0885　岡山県津山市井ノ口2-21
□高柳店
〒700-0035　岡山県岡山市北区高柳西町11-18
□原尾島店
〒703-8235　岡山県岡山市中区原尾島3丁目8-8
□倉敷店
〒710-0803　岡山県倉敷市中島1401
□笠岡店
〒714-0086　岡山県笠岡市五番町2-5
□BPセンター
〒710-0803　岡山県倉敷市中島1401

事業内容

□新車・各種中古車販売　□中古車の買取り　□自動車の点検及び点検整備・鈑金
□自動車部品・用品の販売　□保険等の代理店業務

事業の規模

□売上高　157億2513万円（令和7年度）

店舗	従業員（人）	延べ床面積（㎡）	敷地面積（㎡）
本社・岡山店・やしの木店	93	3,090	9,807
高柳店	23	1,660	3,441
東岡山店	19	743	2,238
原尾島店	17	1,611	2,731
岡南店	20	1,130	2,831
倉敷店	24	737	3,824
水島店	15	688	2,110
笠岡店	14	1,250	2,039
津山店	20	934	2,435
BPセンター	14	1,153	2,045
合計	258	12,996	33,501

エコアクション２１対象従業員数　※２５６名

※エコアクション２１認証・登録制度における「従業員」とは、「法人を構成する全ての者及び個人事業主に雇用されている者」とし、「法人を構成する全ての者」には、代表者、常勤の役員、派遣、パート、アルバイト等も含みます。なお、パート、アルバイト、派遣社員の人数は、常勤職員数に換算して従業員数に加えています。（例：常勤職員が週5日勤務の場合、週2.5日勤務の者2名で常勤1名と換算）

事業年度　4月～翌年3月

認証・登録の対象組織・活動　全組織・全活動

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者名　総務室次長　岩田　崇

担当者名　総務室総務G　橋本　菜々

TEL　086-282-5579

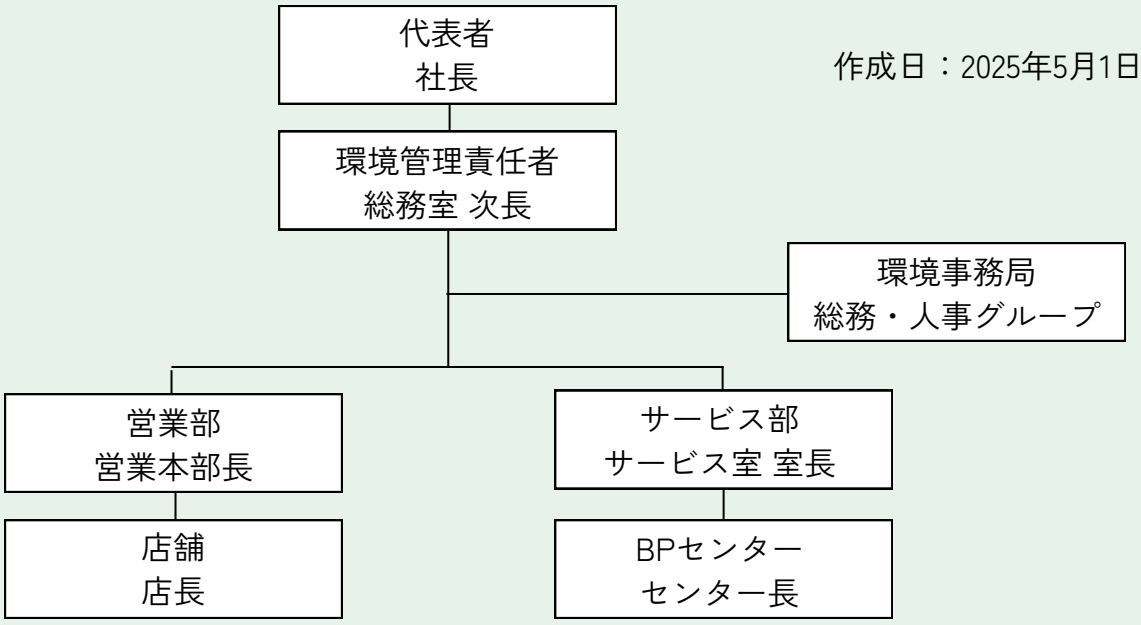
FAX　086-281-3340

E-mail　hashimoto-n@netz-sanyo.co.jp

HP　http://www.netz-sanyo.jp/



実施体制図及び役割・責任者・権限表



作成日：2025年5月1日

責任者及び担当者	役割・責任・権限
代表者（社長）	□環境経営に関する統括責任 □環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 □環境管理責任者を任命 □経営における課題とチャンスの明確化 □環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 □環境経営目標・環境経営計画書を承認 □代表者による全体の評価と見直しを実施 □環境経営レポートの承認
環境管理責任者	□環境経営システムの構築、実施、管理 □環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 □環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 □環境教育訓練計画の作成と実施の管理 □環境関連の外部コミュニケーションの窓口 □緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 □環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 □環境経営レポートの確認
環境事務局	□環境管理責任者の補佐 □環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 □環境経営計画の実勢集計 □環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局へ送付） □環境経営の実施状況の評価、見直し □環境教育の内容検討、実施結果の評価 □特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） □自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 □自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
部門長 （営業部・サービス部）	□自部門における環境経営システムの実施 □自部門における環境経営方針の周知 □自部門の従業員に対する教育訓練の実施 □自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 □特定された項目の運用管理
全従業員	□環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 □決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

ネッツトヨタ山陽株式会社
環境経営方針

基本理念

当社は、自動車の販売を主とする事業活動において、地域環境の保全が社会共通の重要課題であることを認識し、環境並びに温暖化対策・省エネに配慮した企業活動を行い、より豊かな社会の発展に貢献します。

環境行動指針

環境マネジメントシステムを確立し、運用することによって、継続的改善を誓約します。

1.二酸化炭素排出量を削減します。重点分野として、ガソリン・軽油使用量削減を推進します。

2.廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。

3.水道使用量の削減を推進します。

4.化学物質使用量の適正管理を推進します。

5.環境に配慮した製品の販売を推進します。

6.地域のボランティア、教育活動に積極的に参加します。

7.環境関連法規等を遵守します。

8.エコアクション２１について、全従業員に周知徹底します。

制定日：2023年11月6日
改定日：2025年 4月1日

代表取締役社長 鈴森賢史



2025年度環境経営目標及びその実績と判定・2026年度環境経営目標

環境経営目標			単位	基準年度	目　標				備考
				2023年度実績	2025年度			2026年度	
				4月～3月	試行期間（4月～3月）				
					目標	実績	判定		
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO_2	893,974	876095以下 （－2%）	757,248	○	734531以下 （－3%）	
	1-1	電力使用量の削減	kWh	1,178,446	1154877以下 （－2%）	1,176,228	△	1140941以下 （－3%）	2024年12月より岡南店にEV充電スタンド設置
	1-2	ガソリン使用量の削減	ℓ	143,460	140591以下 （－2%）	94,213	○	91387以下 （－3%）	
	1-3	軽油使用量の削減	ℓ	28,245	27680以下 （－2%）	20,035	○	19434以下 （－3%）	
2	水使用量の削減		m3	8,834	8657以下 （－2%）	8,180	○	7935以下 （－3%）	2024年3月岡山店で漏水あり
3	一般廃棄物排出量の削減		kg	64,847	63550以下 （－2%）	56,728	○	55026以下 （－3%）	
4	産業廃棄物排出量の削減		t	213.1	209以下 （－2%）	256.1	×	248以下 （－3%）	
5	化学物質使用量の削減		kg	4,028	3947以下 （－2%）	4,377	×	4246以下 （－3%）	
6	エコカーの販売		台	1,839	1,876 （＋2%）	1,901	○	1,939 （＋3%）	
7	社会貢献活動		回	随時					

注：電力からのCO2排出量算出は令和6年度実績のえねっとの二酸化炭素調整後排出係数：0.414kg-CO2/kWhを使用

注：○：目標達成できた。　△：目標未達だが削減できた。　×：削減できなかった。

注：2026年度は、2025年度実績を基準とし、環境負荷項目は3%削減、エコカー販売は3%増加を目標とする。

環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組計画	実施状況	次年度	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減：判定〇（15.29%減）			
電力使用量の削減：判定△（0.18%減）			
空調温度の適正化	〇	継続	空調温度を適正に管理するとともに、店舗・工場の開口部にシートシャッターを設置し、外気の流入や空調された空気の流出を抑制することで、空調効率の向上と省エネルギーに取り組んだ。今後も適正な温度管理とシートシャッターの活用を継続していく。
OA機器未使用時の電源オフ	〇	継続	OA機器等の未使用時の電源オフを継続して実施し、電力使用量の削減を図った。一方、電力使用量については「判定△」となったため、今後も従業員への意識啓発を継続し、さらなる削減を目指す。
月次の使用量報告と従業員への節電意識啓発	△	強化	月次で使用量を報告し節電を呼びかけたが、電力使用量については「判定△」となった。使用量の見える化と従業員への節電意識啓発を強化し、電力使用量の削減を図る。
エアコンフィルターの定期清掃	〇	継続	エアコンのフィルター清掃を定期的に実施し、空調効率の維持に努めた。今後も定期的な清掃を継続し、電力使用量の削減につなげる。
毎週火曜日早帰りデーの実施	〇	継続	毎週火曜日を早帰りデーとして設定し、定時退社を促進した。業務時間の短縮により、照明・空調・OA機器等の使用時間削減にもつながった。今後も業務効率化と併せて継続していく。
一斉ライトダウンキャンペーンの実施	〇	継続	従業員だけでなくお客様にも協力を呼びかけ、節電・省エネルギー活動に取り組んだ。今後もお客様と一緒に取り組める環境活動として継続していく。
ガソリン使用量の削減：判定〇（34.32%減）			
WEB会議（zoom）の推進	〇	継続	WEB会議を活用することで、会議等に伴う移動を削減し、CO2排出量の削減に取り組んだ。今後もオンライン会議を積極的に活用し、移動に伴う環境負荷の低減を図る。
エコドライブの実施	〇	継続	交通安全活動への参加を通じて、安全運転意識の向上とエコドライブの推進に取り組んだ。今後もエコドライブを継続し、燃料使用量の削減を通じて環境負荷の低減に取り組んでいく。
社用車のPHV・EV化	〇	継続	このまま推進していく。
定期的なメンテナンス	〇	継続	継続していく。
水使用量の削減：判定〇（7.4%減）			
水使用量の把握と削減目標の設定	〇	継続	水使用量を把握し、削減目標を設定することで、節水に取り組んだ。今後も使用量の削減と水資源の有効利用を推進していく。
節水POPの貼り付け	〇	継続	節水意識の向上に向け、節水POPを新しいものに貼り替えた。今後も節水を呼びかけ、水使用量の削減に取り組んでいく。
定期的な点検	〇	継続	検針時に漏水等の異常がないか確認し、適切な点検・管理を行っている。今後も定期的な確認を継続していく。
一般廃棄物排出量の削減：判定〇（12.52%減）			
ゴミ分別の徹底	△	強化	店舗ごとにゴミの分別状況に差があるため、分別ルールの周知・徹底を強化していく。今後は店舗間で情報共有を行い、分別意識の向上と適正な分別の徹底に取り組んでいく。
会議資料や社内連絡のデジタル化	〇	継続	会議資料や社内連絡のデジタル化を進め、ペーパーレス化が定着しつつある。今後もデジタル化を推進し、紙資源の使用量削減に取り組んでいく。
産業廃棄物排出量の削減：判定×（20.17%増）			
マニフェスト電子化の導入	×	強化	R6年度は担当者1名での対応による業務負荷から電子化への移行が進まなかった。R7年度も導入に至らなかったが、業務体制を見直し、マニフェスト電子化の早期導入を目指す。
分別管理の徹底	△	強化	分別が不十分なケースが見られたため、今後は分別ルールの周知・徹底を強化し、改善を図る。
化学物質使用量の削減：判定×（8.66%増）			
作業ミスによる使用量増加の抑制	△	強化	使用量の削減には至らなかったが、作業ミスによる余分な使用は一定程度促成することができた。
エコカーの販売促進：判定〇（3.37%増）			
HEV・PHEV・BEVの販売促進	〇	継続	HEV・PHEV・BEVの普及促進に向け、bZ4Xの販売促進キャンペーンを実施した。今後も環境に配慮した車両の販売促進を継続していく。
地域貢献			
子育て支援の推進	〇	継続	子育てと仕事の両立を支援する取り組みを推進し、くるみん認定を取得した。今後も働きやすい職場環境づくりを継続していく。
交通安全啓発活動の推進	〇	継続	岡山県警等が実施する交通安全活動に参加し、交通安全の啓発に取り組んだ。今後も継続して参加し、交通安全意識の向上を図っていく。
健康経営への取り組み	〇	継続	従業員の健康増進を目的に、禁煙補助制度を実施するなど、健康経営に取り組んでいる。今後も従業員の健康意識向上につながる取り組みを継続していく。
ハンディキャップの方々の作成物使用	〇	継続	障がいのある方々が作成した商品を継続して活用し、新たに取引する施設も増やすことができた。今後も取引先を広げ、活動の支援につなげていく。
店舗周辺清掃活動	〇	継続	定期的に店舗周辺の清掃活動を実施し、地域の美化に取り組んでいる。今後も継続して活動を行い、地域に根ざした店舗づくりを推進していく。
TOYOTA SOCIAL FES参加	〇	継続	毎年10月に開催、次年度も参加予定
インターンシップ・職場体験受け入れ	〇	継続	インターンシップ・職場体験を継続して実施し、地域教育機関との連携を図った。今後も継続して受け入れを行い、地域教育への貢献を推進していく。
トヨタ未来スクール参加	〇	継続	10月に開催、次年度も参加予定

環境経営活動

電気使用量削減に向けた取り組み

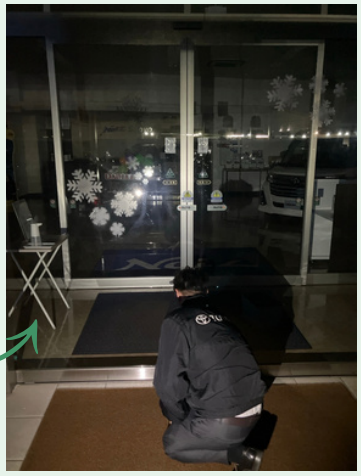
- **毎週火曜日早帰りデー**
- **一斉ライトダウンキャンペーン2025の実施（6/23〜7/6）**
- **店舗工場の開口部にシートシャッターを設置**

当社では、工場および店舗における電気使用量削減と、従業員の労働環境改善（熱中症対策・防寒）を目的に開口部へのシートシャッターの順次設置を進めています。
令和7年夏から工場への設置をスタート。空調の逃げを防ぐことで冷暖房効率が大幅に向上し、夏・冬ともに快適に作業できる環境を整備しました。各店舗へ順次導入を進めており、令和8年度中に全店への設置完了を予定しております。



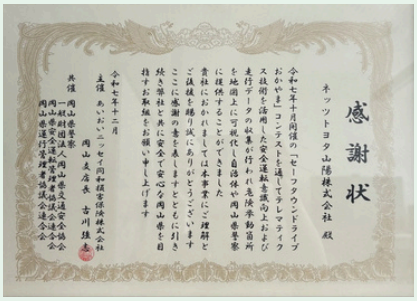
- **時短取組ベストパフォーマンス賞の実施**

当社では、労働時間の削減と環境負荷低減の両立を目指し、2025年10月より営業時間を10：00〜18：00（18：15退社）へ変更いたしました。
この取り組みを定着・推進するため、10月・11月の2カ月間「時短取組ベストパフォーマンス賞」を開催し、真摯に取り組み成果を上げた店舗を表彰する社内キャンペーンを実施しました。この時短活動により、店舗の夜間照明や空調（エアコン）の稼働時間が短縮され、電気使用量（電気代）の削減にも大きく寄与しています。



【写真】最終退場者による消灯・退社報告
毎日、最終退場者が消灯状態と退社時刻を撮影し、環境管理責任者へリアルタイム報告。ルール遵守の徹底と省エネ（不要な照明・空調の消し忘れ防止）を確実に実行しています。

ガソリン使用量の削減に向けた取り組み


感謝状

ネッツトヨタ山陽株式会社 殿

令和七年十月開催の「セーフタウンドライブおかやま」コンテストを通してテレマティクス技術を活用した安全運転意識向上および走行データの収集が行われ急発進や急加速に関する運転傾向や岡山県警察本部による地図上に可視化し自己診断ができ人身事故においては本事業にご理解とご協力を賜りましたことここに感謝の意を表しますとともに引き続き御社と共に安全で安心な岡山県を目指すお取組をお願い申し上げます

令和七年十二月

表彰 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
岡山支店長 吉川 雄志

共催 岡山県警察本部 岡山県交通安全協会
岡山県交通安全協会連合会
岡山県交通安全運転管理者協議会連合会

- **「無事故・無違反チャレンジ200日」への参加（6/15〜12/31）**
- **「セーフティタウン・ドライブおかやま」への参加**

岡山県警等が実施する交通安全活動に参加し、安全運転意識の向上とエコドライブの推進に取り組んでいます。
今後も交通安全と環境負荷低減の両面から、燃料使用量の削減に取り組んでいきます。

水使用量の削減に向けた取り組み

- **トイレや洗面台に掲示している節水ＰＯＰを新しいものに貼り替え**
- **無料洗車サービスの改定**

これまで全店で実施していた「無料洗車サービス」を見直し、お客様にも水資源節約へのご協力を呼びかけております。
また、ご理解・ご協力いただいたお客様には、感謝の意を込めて当社店舗サービス商品をご購入の際にご利用いただける「クーポン券（税込500円分）」を進呈 しております。お客様のご理解のもと、全社を挙げた節水と水資源の適正利用を推進しています。





環境配慮型商品の普及促進

・電気自動車（EV）の普及推進

カーボンニュートラル社会の実現に向け、電気自動車「ｂＺ４Ｘ」の販売促進キャンペーンを実施しました。
スタッフの商品知識・提案力の向上を図り、ＥＶの環境性能や特徴をお客様へ積極的に情報提供することで、環境負荷低減に寄与する電動車の普及促進に取り組みました。



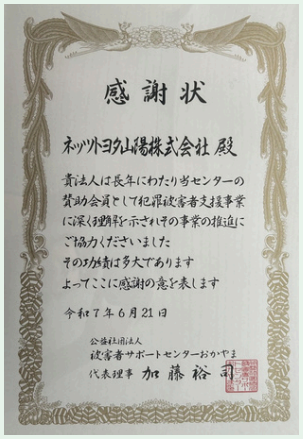
地域貢献活動

・「くるみん認定」の取得



両立支援の体制整備が評価され、厚生労働大臣より「子育てサポート企業」としてくるみん認定を受けました。
環境整備を進めた結果、女性従業員数は令和4年度の47名（うち子育て中18名）から、令和7年度には55名（うち子育て中25名)へと順調に拡大しています。性別を問わず育児に参加しやすい風土づくりをすすめており、令和7年度には男性従業員7名が述べ10回（1人あたり平均10.1日）の育児休業を取得しました。
今後は育児支援にとどまらず、介護や傷病治療など多様なライフイベントに直面した従業員に対しても、柔軟に働き続けられるサポート体制を拡大してまいります。

・犯罪被害者支援活動への協力



公益社団法人 被害者サポートおかやまの賛助会員として、長年にわたり犯罪被害者支援事業に協力しています。
今後も地域社会の一員として、社会貢献活動に継続して取り組んでまいりまいります。
【写真】被害者サポートセンターおかやまより感謝状をいただきました。

・ネッツトヨタ山陽「防災運動」実施（9/6～9/21）

従業員だけでなく地域のお客様の防災意識向上を目的に、各店舗に「防災コーナー」を設置しました。
防災グッズの展示や車両からの脱出体験イベントを実施するとともに、ご来店のお客様へ「車中泊避難ヘルプブック」や「防災グッズチラシ」を配布し、災害時の備えや安全確保の重要性をお伝えしました。
店舗を地域との接点として、防災情報の発信と災害への備えの促進に取り組みました。



防災コーナー


車両からの脱出体験イベント


参加ノベルティ

社会的配慮・地域連携の取り組み

・地域福祉施設との連携によるおもてなしの推進

地元の障がい者支援施設と連携し、施設で作られた焼き菓子を来店されたお客様へのおもてなし品として活用しています。
新たに取引きする施設を増やしたり、意識的に取り組んでいます。

・トヨタソーシャルフェスへの参加（10/4）

岡山県玉野市で開催された「TOYOTA SOCIAL FES！！」に参加しました。
「海の健康を守る藻場について調査しよう！」をテーマに、藻場が海の生態系に果たす役割について学び、海辺の環境調査などを体験しました。
地域の自然環境について理解を深めるとともに、環境保全の大切さを学ぶ機会となりました。



環境学習・説明の様子



海辺での環境調査



環境に配慮した車両を展示

・トヨタ未来スクールへの参加（10/16）

岡山県総社市の小学校5年生を対象に「クルマまるわかり教室」を実施しました。
地球温暖化の原因となる二酸化炭素についてクイズ形式で学んだほか、ゲームを通して「カーボンニュートラル」について理解を深めてもらいました。
次世代を担う子どもたちに、地域環境や環境保全について考えてもらう機会となりました。



環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

主な環境関連法規等および遵守評価結果は、下表の通りです。

環境関連法規等	適用される要求事項	取組・実施事項	遵守評価
廃棄物処理法	□一般収集業者の許可の確認 □保管基準 □マニフェスト交付	□収集運搬業者・処分業者との契約締結 □掲示板による必要事項の表示 □マニフェストの交付、管理	○
浄化槽法	□保守点検・清掃 □定期検査 □帳簿の備え付け（5年間）	□保守点検・定期検査実施済み	○
騒音・振動規制法	□特定施設の事前届出 □地域別騒音基準の遵守	□届出済み □作業時の近隣への配慮を実施	○
水質汚濁防止法	□特定施設の届出	□届出済み	○
自動車リサイクル法	□使用済み自動車引取り業者登録 □抹消登録	□使用済み自動車の引取り業者やリサイクルシステムの事業者登録済み	○
消防法	□消防訓練の実施 □消防設置の点検	□防火管理者選任届出書済み □消火器・火災報知器の点検、設置場所管理	○
有機溶剤中毒予防則	□健康配慮	□定期健康診断の実施	○
フロン排出抑制法	□業務用エアコン等の簡易及び定期点検実施	□業務用エアコンの定期点検実施	○

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、特定されたすべての法規等が遵守されていることを確認しました。
なお、環境関連法規等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

2025年度は、二酸化炭素排出量、ガソリン使用量、水使用量、一般廃棄物排出量の削減に加え、エコカー販売についても目標を達成することができました。特に、早帰りデーやライトダウンキャンペーンの実施、WEB会議の活用、無料洗車サービスの見直しなど、従業員一人ひとりの取り組みが成果につながったことを評価しています。

また、くるみん認定の取得、交通安全活動、防災運動、地域福祉施設との連携、トヨタソーシャルフェスやトヨタ未来スクールへの参加など、地域社会とのつながりを意識した活動も積極的に実施することができました。これらの活動は、環境経営だけでなく企業の社会的責任（CSR）の実践としても大変意義のあるものでした。

一方で、産業廃棄物排出量および化学物質使用量については目標を達成することができませんでした。特に産業廃棄物については、部署ごとの取り組みにばらつきが見られ、目標達成に向けた活動の徹底が十分ではなかったと認識しています。また、マニフェスト電子化についても導入に至らず、今後の課題として残りました。

今後は、目標達成部署の好事例を全社で共有するとともに、廃棄物の分別管理の徹底、マニフェスト電子化の推進、化学物質の適正使用に向けた教育を強化します。また、環境経営を一部の担当者だけの活動とせず、全従業員が主体的に参加する取り組みとして定着させ、環境負荷のさらなる低減と地域社会への貢献を推進していきます。環境経営の継続的改善を通じて、地域に必要とされる企業を目指してまいります。

ネッツトヨタ山陽株式会社

代表取締役社長

鈴森賢史

